※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ソフトウェア活用	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「ソフトウェア活用」　（東京法令出版）						
副教材等	令和８年度 全商情報処理模検定擬試験問題集 ビジネス情報２級　（実教出版） 令和８年度 全商情報処理模検定擬試験問題集 ビジネス情報１級　（実教出版） 令和８年度 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集 ２級（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「情報処理」の学習内容を踏まえ表計算ソフトウェアの応用的な知識および活用方法を習得し、実践的・体験的な学習活動を行う。演習・実習を通して職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

２　学習の到達目標

『知識及び技術』

実践的・体験的な学習活動を行うことを通してビジネスにおける情報を適切に扱うための知識と技術を体系的に身に付ける。

『思考力、判断力、表現力等』

情報を多面的、多角的に分析することで、ソフトウェアの活用に関する課題を創造的に解決し、企業活動の改善に向けたソフトウェアの効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むための必要な資質・能力の育成をめざす。

『学びに向かう力、人間性等』

ビジネスに携わる者として、企業活動の会計の流れを意識し、責任感をもって仕事に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	企業活動とソフトウェア活用	ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 社会で利用されている情報システムの例や，ビジネスにおけるソフトウェアの活用の実例を学ぶことによりソフトウェア活用の重要性を理解する。 ソフトウェアの進化が，社会の変化に与える影響を考える。 ソフトウェアの活用例と目的を理解する。	a：ソフトウェアの意義と重要性について考え，理解している。 情報通信システムの特徴や処理方式の概要を理解し，ソフトウェアの具体的な利用例を理解している。 b：ネット通信ビジネスにおける情報通信システムに関心を持ち，各種決済システムなどの，ソフトウェアの意義や役割を考え，理解している。 観光ビジネスとソフトウェアの活用，各種センサーとソフトウェアの関連などに関心をもち，概要と目的を理解している。 c：ビジネスにおけるソフトウェアの役割を理解し，これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとしている。	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	問題集 プリント 小テスト 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける。 表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解し、目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける。 マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解し、基本的な技術を身に付ける。	a: 表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 b: 表計算ソフトウェアを通し、オペレーションズ・リサーチの基礎について理解し、目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 c: マクロの記録機能を用いた手続きの自動化について理解し、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	問題集 プリント 小テスト 授業態度
3学期	情報通信ネットワークの活用	ネットワーク機器の機能や通信手段の変化について理解し、LAN やインターネットに接続するための基礎的な方法や、情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける。 情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、リスクを適切に管理する方法について理解するとともに、情報を共有するためのアクセス権の設定や，暗号化の種類、データのバックアップなどについての基本的な技術を身に付ける。	a: 情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解している。 b: 情報を共有するためのファイルとフォルダのアクセス権の設定や、暗号化の種類，データのバックアップなどについての基本的な技術について理解している。 c: 情報資産を保護することの重要性を理解し、適切なリスク管理の必要性を理解しようとしている。	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	定期テスト 問題集 プリント 小テスト 授業態度	問題集 プリント 小テスト 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度